



令和3年1月4日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

**研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）
企業主導フェーズ NextTEP-Aタイプ
2019年度第3回募集における新規課題の決定について**

JST（理事長 濱口 道成）は、研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）企業主導フェーズ NextTEP-Aタイプの2019年度第3回募集における新規課題1件を決定しました（別紙）。

A-STEP企業主導フェーズは、大学等の研究成果に基づく技術シーズを用いた実用化開発を行うプログラムで、NextTEP-Aタイプはリスクを伴う大規模な開発を支援します。

2019年度第3回は、令和元年11月29日（金）から令和2年3月31日（火）まで新規課題を募集し、2件の応募がありました。

募集締め切り後、外部専門家による評価委員会にて、課題の独創性（新規性）および優位性、目標設定の妥当性、イノベーション創出の可能性、提案内容の実行可能性、事業化の可能性、開発に伴うリスクなどの観点から審査し、支援課題を決定しました。

<添付資料>

別紙：A-STEP 企業主導フェーズ NextTEP-Aタイプ
2019年度第3回募集 新規課題概要

参考1：A-STEP 企業主導フェーズ NextTEP-Aタイプについて

参考2：NextTEP評価委員会 委員一覧

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 産学共同開発部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

沖代 美保（オキシロ ミホ）

Tel：03-5214-8995 Fax：03-5214-0017

E-mail：[jitsuyoka\[at\]jst.go.jp](mailto:jitsuyoka@jst.go.jp)

A-STEP 企業主導フェーズ NeXTEP-Aタイプ
2019年度第3回募集 新規課題概要

課題名	新技術の代表研究者	開発実施企業	新技術の内容
マダコ完全養殖と高度食品加工技術	宮城大学 食産業学群 教授 西川 正純	株式会社 ホットランド	<p>本開発は、世界初のマダコ完全養殖の事業化を目的とする。</p> <p>日本はタコの国内消費の6割を輸入で賄っているが、世界的な水産資源の減少と欧州、アジアでの需要拡大から、輸入量が減少している。持続的なマダコの資源確保のために、養殖技術の開発とその事業化が課題となっている。</p> <p>開発実施企業と代表研究者らはこれまで、JST 復興促進プログラム（マッチング促進）やJST A-STEP ステージII（シーズ育成タイプ）の支援を受け、マダコ完全養殖に向け技術開発を進めてきた。稚ダコから成ダコまでを飼育するためのシェルターや人工飼料の開発など、効率の高い畜養生産技術を確立した他、カニの一種であるガザミの幼生などを餌として、孵化したマダコ幼生を稚ダコまで成長させる種苗生産に成功している。</p> <p>本開発では、さらに人工飼料を開発して種苗生産技術を確立する他、養殖技術をスケールアップして商業規模で実証する。これらによりマダコの完全養殖が実現すれば、持続可能な水産資源を提供する技術としてSDGsへの貢献が期待される。</p> <p>また、開発拠点を熊本県天草市と震災復興途上の宮城県南三陸町、石巻市、女川町に置き、事業化においては水産・食品加工による雇用促進、地域産業創生への貢献も目指す。</p>

※2019年度第3回募集では、令和2年10月1日にも採択課題を発表しています。

<https://www.jst.go.jp/pr/info/info1456/index.html>

A-STEP 企業主導フェーズ NexTEP-Aタイプについて

1. A-STEPの概要（2019年度時点）

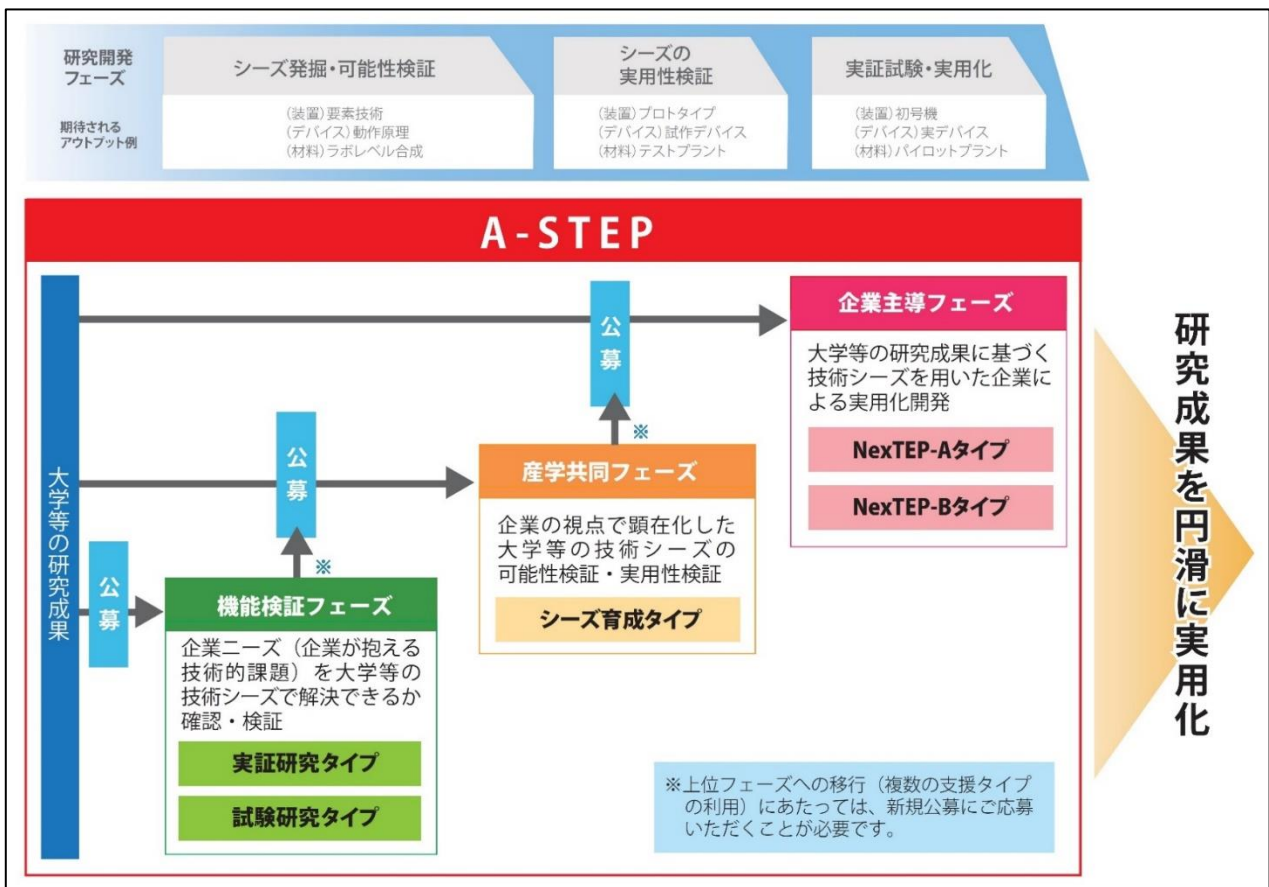
A-STEP (Adaptable and Seamless Technology Transfer Program through Target-Driven R&D) は、大学・公的研究機関など（以下、「大学等」^注）で生まれた国民経済上重要な科学技術に関する研究成果を実用化することにより、社会へ還元することを目指す技術移転支援プログラムです。

A-STEPは、大学等の研究成果からシーズ候補を企業の視点から掘り起こして、技術シーズとしての可能性を検証して顕在化させるフェーズから、顕在化した技術シーズの実用性を検証する中期のフェーズ、さらに製品化に向けて実証試験を行う後期のフェーズまでを対象としており、それぞれ、機能検証フェーズ、産学共同フェーズおよび企業主導フェーズと定めています。

各フェーズには、それぞれの特性に応じた複数の支援タイプ（サブプログラム）を設けています。

注)「大学等」

国公立大学、高等専門学校、国立試験研究機関、公立試験研究機関、国立研究開発法人、研究開発を行っている特殊法人、独立行政法人、公益法人（公益財団法人、公益社団法人）をいいます。



A-STEPの構成

2. 企業主導フェーズ N e x T E P - Aタイプの概要

大学等の研究成果に基づく実用性が検証されているシーズを用いて企業等が行う、リスクを伴う大規模な開発を支援し、実用化を後押しします。実用化開発に先立ち、可能性の検証などを目的として行う小規模な試験（導入試験）を行うことも可能です。

※A-STEP企業主導フェーズ（N e x T E P - Bタイプ／N e x T E P - Aタイプ）は、令和2年度より「A-STEP企業主体（マッチングファンド型／返済型）」として公募しています。

企業主導フェーズの公募要項

フェーズ	企業主導フェーズ	
	N e x T E P - B	N e x T E P - A
支援タイプ		
目的	研究開発型中小企業による大学等の研究成果に基づく技術シーズの実用化開発を支援	企業による大学等の研究成果に基づく技術シーズの大規模な実用化開発を支援
申請者	シーズの発明者・所有者の了承を得た資本金10億円以下の開発実施企業	シーズの発明者・所有者の了承を得た開発実施企業
研究開発期間	原則、最長5年	原則、最長10年
研究開発費の総額 (間接経費込)	原則、3億円まで	原則、15億円まで
	マッチングファンド 実施料納付	開発成功時返済 実施料納付

N e x T E P 評価委員会 委員一覧

役職	氏名	所属機関
委員長	田井 一郎	元 株式会社東芝
委員	井上 潔	株式会社アーク・イノベーション
	太田 健一	元 みずほキャピタル株式会社
	加藤 信子	元 株式会社ブリヂストン
	加藤 政一	東京電機大学
	桐野 豊	東京大学／徳島文理大学
	小浦 節子	千葉工業大学
	谷田 清一	公益財団法人 京都高度技術研究所
	土肥 義治	東京工業大学
	堂免 恵	株式会社湧志創造
	古市 喜義	元 アステラス製薬株式会社
	森原 淳	東京工業大学

(五十音順、敬称略)

令和 2 年 7 月時点